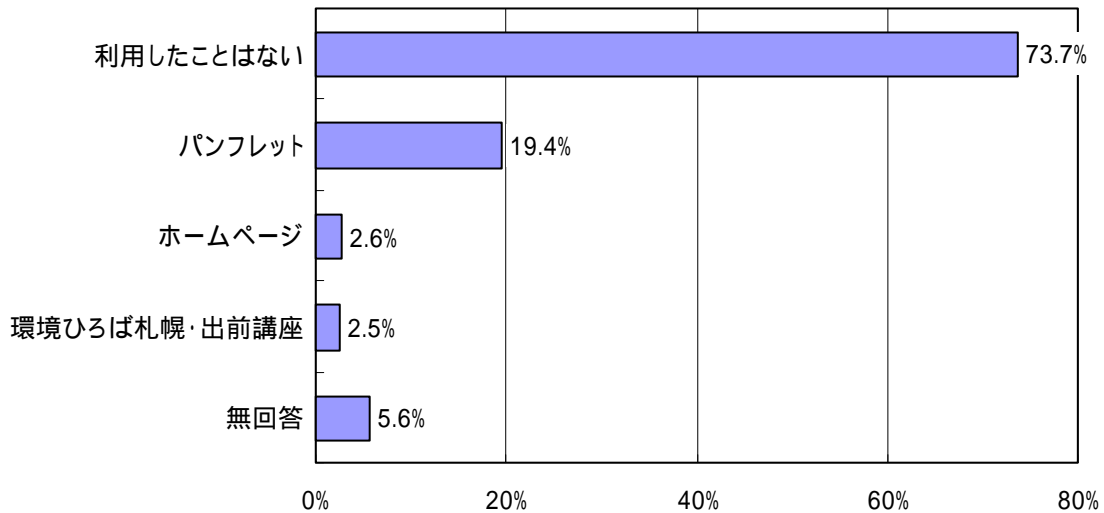


### テーマ3 化学物質に関する情報提供等の推進について

#### 化学物質に関する情報の入手状況（複数回答）

問9 札幌市では、様々な方法で化学物質に関する情報を提供していますが、あなたが利用した（見た、参加した）ことがあるものは何ですか。次の中からあてはまるものにいくつでもをつけてください。

( N = 4,832 )



#### （全体の結果）

「利用したことはない」が最も多く 73.7%、次いで「パンフレット」が 19.4%であった。

#### （男女別の結果）

男女別で選択項目の順位・割合に目立った差は見られなかった。

#### （年代別の結果）

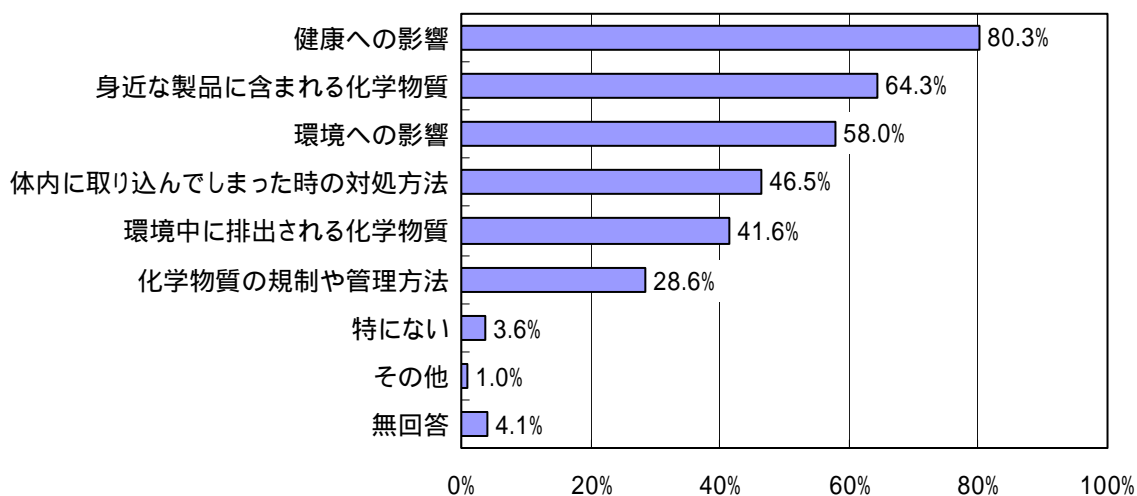
各年代とも「利用したことはない」が最も多かった。

化学物質に関する情報の入手方法について、札幌市が提供する媒体を「利用していない人」は 73.7%

## 化学物質に関して知りたい情報（複数回答）

問 10 あなたは、化学物質のどのような情報について知りたいと思いますか。次の中からあてはまるものにいくつでも をつけてください。

( N = 4,832 )



### （全体の結果）

「健康への影響」が最も多く 80.3%、次いで「身近な製品に含まれる化学物質」が 64.3%、「環境への影響」が 58.0%であった。

### （男女別の結果）

男女とも「健康への影響」が最も多かったが、女性は 82.6%と男性の 77.3%を 5.3 ポイント上回った。

### （年代別の結果）

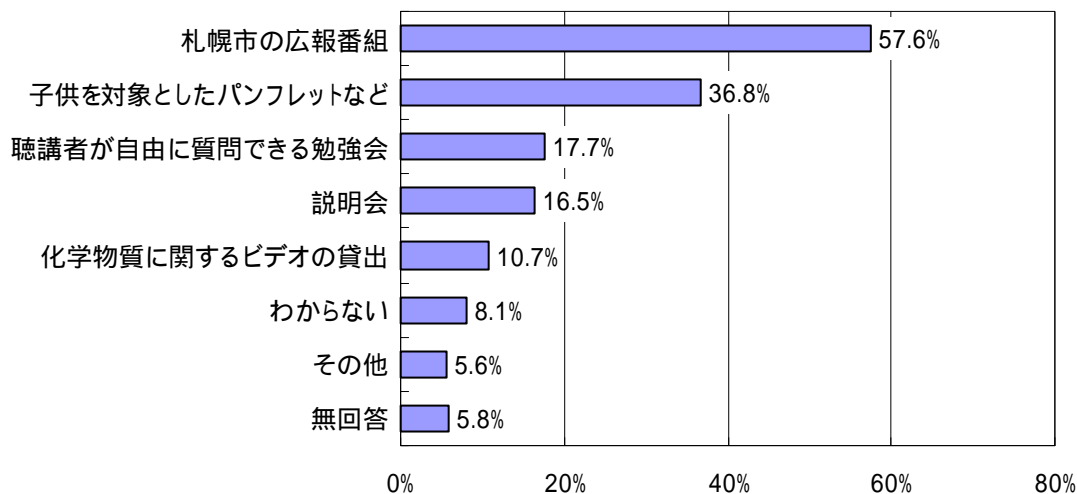
各年代とも「健康への影響」が最も多く、20～50 歳代で 8 割を超えた。

**化学物質に関する知りたい情報として「健康への影響」と答えた人は 8 割を超えた**

## 他の有効な情報提供の方法（複数回答）

問 11 札幌市では、現在パンフレットやホームページなどで、化学物質に関する情報を提供していますが、あなたは他に何があったらよいと思いますか。次の中からあてはまるものにいくつでもをつけてください。

( N = 4,832 )



### （全体の結果）

「札幌市の広報番組」が最も多く 57.6%、次いで「子供を対象としたパンフレットなど」が 36.8%であった。

### （男女別の結果）

男女別で選択項目の順位・割合に目立った差は見られなかった。

### （年代別の結果）

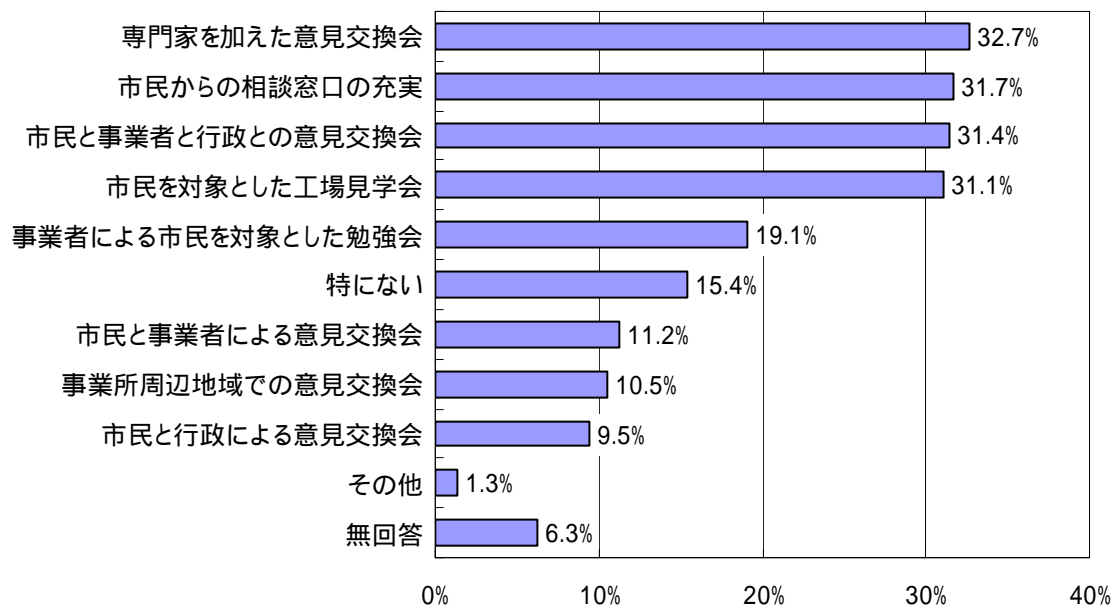
20～30歳代は「子供を対象としたパンフレットなど」が最も多かったが、40歳以上は「札幌市の広報番組」が最も多く、50歳以上では6割を超えた。

他の有効な情報提供の方法として「札幌市の広報番組」と答えた人は 57.6%

## 市民、事業者、行政における情報共有の方法（複数回答）

問 12 札幌市では、化学物質を扱っている事業者と市民と行政が、互いに情報を共有するための機会（リスクコミュニケーション）を作ろうとしています。あなたが参加（利用）してみたいと思う方法はどれですか。次の中からあてはまるものいくつでも をつけてください。

( N = 4,832 )



### （全体の結果）

「専門家を加えた意見交換会」が最も多く 32.7%、次いで「市民からの相談窓口の充実」が 31.7%、「市民と事業者と行政との意見交換会」が 31.4%、「市民を対象とした工場見学会」が 31.1%であった。

### （男女別の結果）

男性は「市民と事業者と行政との意見交換会」、女性は「市民からの相談窓口の充実」が最も多かった。第2位の項目としては、男女とも「専門家を加えた意見交換会」であった。

### （年代別の結果）

20歳代は「市民からの相談窓口の充実」、30～40歳代は「専門家を加えた意見交換会」、50～60歳代は「市民と事業者と行政との意見交換会」、60～70歳以上は「市民を対象とした工場見学会」であった（60歳代は「市民と事業者と行政との意見交換会」と「市民を対象とした工場見学会」が 34.1%で同じ割合であった）。

市民、事業者、行政における情報共有の方法として、「専門家を加えた意見交換会」と答えた人が最も多く 32.7%